

会議録

会議の名称	令和３年度 第２回座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会		
開催日時	令和 ３年 ５月 １１日（火）１８時３０分～１９時４５分		
開催場所	サニープレイス座間 多目的室		
出席者	後藤委員、藤井委員、小林委員、石黒委員、石川委員、富山委員、 吉田委員、藤川委員、坂間委員、吉永委員、落合委員、筒井委員、 松永委員、川南委員、平原委員、金子委員、高間委員 座間市在宅医療連携支援室 比留川室長、大森相談員		
事務局	健康部介護保険課地域支援係 小林係長、田中保健師、植野主事補、会計年度任用職員 板倉、福澤		
会議の公開可否	□公開 □一部公開 ■非公開	傍聴者数	０人
非公開又は一部公開とした理由	座間市保健医療福祉サービス介入ネットワーク要領第4条第2項によるため		
議題	議題１ 活動報告（各子会議） （１）地域包括ケア会議 第１回地域包括ケア会議の報告（主な内容：危機管理課との意見交換会について） （２）在宅医療推進協議会 ア 座間市地域在宅医療・介護連携室から活動報告 イ 座間市介護事業者連絡会設立準備グループ報告 ウ 書面会議について報告 その他 （１）会議図について （２）令和３年度地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会日程変更について		
資料の名称	１ 令和３年度第２回座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会次第 ２ 第１回座間市地域包括ケア会議 会議録 ３ 在宅医療推進協議会報告書 ４ 令和３年度からの会議図 ５ 令和３年度地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会日程予定		
会議の結果			
委員	危機管理課との情報交換会について、時期は７月中旬から下旬、会場は感		

支援室	<p>染対策を意識し、サニープレイス座間多目的室及び北地区文化センターを予定している。実施時間は、危機管理課からの話を３０分、意見交換に３０分の予定。事前質問については、話の中で質問内容に回答するようなプログラムの作り方について調整をしながら進めていく。ワクチン接種や感染症の状況もあり、参加人数の想定が難しいが、まずは開催してみようと考えている。</p> <p>議題１（２）アについて</p> <p>①アンケート調査について</p> <p>地域の資源の把握というところで、今年２月１日に市内医療機関、歯科診療所、薬局、介護サービス事業所等にアンケート（総数３６９件）をお送りして、３５８件回答率９７％の回答を頂いた。ケアマネポケット、ケアマネタイムの作成がほぼ完成しており、５月中旬配布開始予定である。</p> <p>５月１７日以降、順次受け取りに来ていただく予定である。</p> <p>②新規開業の医療機関について</p> <p>介護情報サービス神奈川より、ちずの在宅クリニック、まこと在宅クリニック神奈川圏央、渡辺クリニック（小田急相模原近く）が新規開業したことを確認した。また、ちずの在宅クリニックについては、２０２１年度のケアマネポケットに掲載済みである。特に、在宅診療クリニックは２４時間３６５日対応ということで、今後も協力していきたいと考えている。</p> <p>③在宅医療連携の課題</p> <p>２月に実施したアンケートより、市内の半数以上の医療機関で介護保険の要介護認定申請時の主治医意見書作成の実績があり、記載の際に患者様の心身の状況が不明で記入できないという悩みと、主治医意見書の作成に時間がかかるという意見が多くみられた。</p> <p>また、医師が介護関係者から提供してほしい情報として、介護保険の情報１２件、ケアプランの内容１５件、服薬情報１５件、主治医意見書を書く際の事前問診２２件、日常生活上での問題点２９件という結果であった。主治医委意見書作成時の事前問診票について、座間総合病院に問い合わせたところ、独自の書式で対応しているとのことだった。他市では、主治医意見書を発送する際に一緒に事前問診票を送付し、主治医意見書を書きやすいように工夫している市町村も確認できた。</p> <p>今後、事前問診票が必要であるということであれば支援室でも考えながら、必要時ワーキンググループを作成し、皆さんの意見を参考にしながら</p>
-----	--

事前問診票を作成するのが望ましいのではと考えている。これにより、認定までに要する時間の短縮や、速やかに介護保険につながるというのであれば協力を頂きたい。

④ケアマネタイムの内容追記について

介護保険法改正にあたり、ケアマネジャーの受診同行が加算対象になったため、受診時の同行について受け入れの可否についてをケアマネタイムに掲載したので確認してほしい。相談業務や当会議を通して、意見や要望を吸収し、業務を進めていきたいと考えている。アンケート結果から見えてきた事前問診票の作成については必要性が高く、切れ目のない在宅医療、在宅介護の提供体制の構築にもつながると考えている。

⑤相談業務内容報告

3月から本日までの相談件数は5件。①精神疾患がある方で、心臓疾患に対し入院加療可能な病院はどこか、②中心静脈栄養を使っている方が利用できるショートステイはないか、③多職種連携研修の開催はいつか、④居宅管理指導を使って栄養指導を受けてくれるところはないかという、⑤介護度5で訪問してくれる耳鼻科はないかという相談を受けた。今後、さらに周知し色々な相談を受けられる体制を整えていきたい。

⑥地域住民への普及啓発について

3月に人生会議をテーマにした市民参加型オープン研修を検討していたが、中止になった。今年度の課題であると考えている。

⑦ICT活用状況

バイタルリンクの現在の登録人数210名、利用者67件、連絡用21件、個人用46件という状況である。現時点でこの状況については説明が難しく、質問は後日電話でお願いしたい。バイタルリンクというシステムについての活用方法等について、今後説明する機会を設けた方がよいと考えている。

⑧介護関係者の研修について

令和3年2月に座間介護支援専門員協会と共催で多職種連携研修を予定していたが、感染症の影響で延期になり3月26日に実施した。タイトルは「顔の見える関係づくり」とし、ZOOMを利用し開催した。市内3病院のMSW、退院支援看護師、ケアマネジャー、訪問看護師、理学療法士計22名が参加した。事前アンケートで質問があった内容について、回答ができなかったことが反省点である。Web研修会の企画、実行について経験が浅く対応できなかったという背景がある。頂いた質問に対しては、

	<p>担当者が回答を作成し、終了時アンケートの集計と共に参加者にお送りする予定である。</p> <p>今後もW e b 研修の開催が想定されるため、インターネットのつなぎ方やW e b 研修受講時の手順等、基本的な内容についても情報提供をしていく必要があると考えている。</p> <p>最後に、令和2年9月に在宅医療連携推進事業の手引きが改正され、介護保険課の地域支援事業に基づく他の事業とも連携をとるようにと示された。4月末に市の認知症の会議に出席し、支援室の業務内容や必要時連携をとっていく旨をお伝えした。今後、他の事業と連携を取りながら進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>議題1（2）イについて</p> <p>ここ数カ月間、連携推進に関する活動は行えていない。各事業所は感染症対策もあり、神経質になっている。これ以上無理に推し進めるのも難しいと考えている。他のメンバーも案を出すことはできるが、実働は難しいというのが現状である。連携支援室で検討頂き、力を貸してほしい。</p>
事務局	<p>議題1（2）ウについて</p> <p>①書面会議報告</p> <p>昨年9月、在宅医療・介護連携推進事業の手引きが改定され、連携が必要になる4つの場面を想定して、課題抽出を行ってきた。頂いた意見をもとに、①I C T、W e b 活用の促進、②家族・介護者への支援、③在宅医、協力医の重要性、④消防との連携・情報共有、⑤認知症・精神疾患の方の緊急入院調整に関して、⑥看取りの6つを取り組むべき課題として抽出した。さらに、取り組むべき優先順位（1～3位）についての意見を求めたところ、1位I C T、2位家族・介護者支援、3位認知症・精神疾患の方の緊急入院・入所調整に関してという結果になった。</p> <p>また、令和3年度の検討事項という欄を設け、具体的に何をどうしていくかという方針の例を記載している。今年度はこれらを中心に検討を進めたいと考えている。</p> <p>I C Tに関しては、医師会の取り組み、進捗状況を確認しながら検討をすすめる、また、一般的なI C TとしてT e a m s でのオンラインでの研修や会議の開催等についても進めていきたいと考えている。</p>

	<p>家族・介護者への支援については、ケアマネジャーの業務が多岐にわたり、負担を感じているという状況が伺えた。連携の部分で支えていくにはどうしたらいいかを検討していきたいと考える。また、その他の職種でも、それぞれの立場として家族支援に取り組んでいる実情を把握できた。</p> <p>認知症・精神疾患の方の緊急入院・入所調整に関することについては、手引き改定に伴い、認知症に関することがこの場で話合うべきこととして示された。入院・入所調整の支援として一覧表のようなものが必要だという意見もあり、これについても、支援室と協議の上すすめて行きたいと考えている。</p> <p>②W e b 基礎調査報告</p> <p>本市としてはマイクロソフト社の Teams によるリモート会議を実施したく準備を進めている。Teams については知っている方が 3 6 %、すでに使っている方は 1 0 %にとどまっている状況である。また、使用を予定する機器タイプはノートパソコンが 6 3 %で、7 6 %は組織所有のパソコンとなっている。このため地域包括支援センターには管理者宛の協力依頼文を発送した。同様に組織代表者宛に協力依頼文発送などの必要がある方の確認をしたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>2 回目のアンケート調査の結果として、PC またはモバイルでの Teams の試行に参加可能な方はメールアドレスのご報告をお願いしたところ、11 名・4 4 %の方からの回答をいただいた。参加可能な方から試行を少しずつでも開始していきたいと考えている。また、モバイルについてはアイパッド系が 5 0 %と多く、個人の所有が 4 8 %となっている。このことからモバイルでの構成を意識しながら進めることも一つの方法と考え、今後の Wi-Fi 環境調査も行いたいと考えている。</p> <p>実際に当課のから Teams での会議参加お誘いメールを送らせていただき、返信を頂くということをやっていき、Teams でのオンライン会議開催に向けて準備をしていきたいと考えている。また、Teams での Web 会議の説明会を開催した場合参加を希望するかについても調査しながら、小規模でも早期に W e b 開催をやっていききたいと考えている。</p>
委員	<p>家族支援に関して、それぞれご自身の職種としてこう考えている、こういことができているということがあると思うが、相模が丘包括では、地域課題検討会議の中で、専門職とご家族地域の方とのコミュニケーション</p>

<p>委員</p>	<p>を活発化させていきたいというところで、お互い共通する課題がないのかということを経後インタビューして課題を見出していこうという動きをしようとしてみているところである。</p> <p>最近のケースで、利用者は認知症で同居人（元夫）がうつ病でそちらを助けてくれと言われている。それは少し違うと感じている。2人セットという感じになっている。どこまで支援すべきか戸惑う。</p> <p>利用者さんが通ってくるのになかなか家を出られないということで同居人が一緒に通ってくる。通い初めて3回目になるが、関わりすぎると自分もどうにかしてくれという訴えが多くなり、電話の回数もすごく多い。</p> <p>家族が病気だと、認知症のご本人とセットでそっちもどうにかしなくてはいけないということが最近のケースでは多いと感じる。家族も支援しなくてはいけないが、少し管轄が違うのではと感じている。栗原包括に相談にいかうと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>老人保健施設ということで、在宅復帰を支援する施設なので施設に入所している方は、退所されるときご家族とやり取りすることが多い。老々介護であったり、子供が就労していたりするとなかなか在宅につながりにくく、使ってこういうのを活用すれば在宅でご本人が望む生活になるようにと諸サービスを提案するが難しい。ご家族を納得させ、これなら安心してできるというのを提示することと、ご本人のご希望を叶えることが難しいが、本人にとって何が一番いいかを考えながら支援している。このような場で社会資源について情報収集しながらご提案はするが、なかなかつながりにくいというところはある。</p> <p>また、在宅復帰を目指す施設ではありながら、施設から施設へということも多くあり、包括ケアにつながる、自宅を中心とした生活に戻れる、本人が望む生活に戻れるための家族への支援は大事だと思っている。家族・介護者への協力、安心してもらいながら生活できると感じてもらう方法はないかと常々考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>昨日からワクチン接種予約が始まったが、老老介護であったり独居であったり、ワクチンの申し込みや予約票の受け取りが理解できていない人がある。先週介護保険課の方にももう少し支援の体制を整備してくれないかと伝えたが、ワクチン担当ではないとか介護保険業務ではないという声があり、それは違うのではと思った。</p> <p>実際に昨日から申し込みが始まり、一日電話していてもつながらないという声も多くあった。替わりにラインで予約することは簡単だが、ケアマ</p>

	<p>ネを飛び越えてそういうことはなかなかできない。ケアマネジャーの方に対し行政のほうから、お困りの方の支援を呼びかけるということがあってもいいのではと思っている。</p> <p>今日たまたまメールが来て、支援して下さいというような内容のメールだったが、もう少しなんというか、少し寂しいと感じた。</p>
委員	<p>相模が丘包括にも似たような話が寄せられている。ご本人はもちろんご家族も支援するという視点は大切であるが、どこまで支援するかというのは難しいところである。</p>
支援室	<p>可能な範囲で挨拶に回ったが、その中で家族支援というところとは相反する意見もあると聞いている。入所させると会えなくなるため入所させたくないとか、入院が必要だが入院すると会えなくなるため入院させたくないという意見もあると聞いている。</p>
委員	<p>コロナワクチンの予約について、独居で身寄りがない方について、誰が予約をするのか。そこはケアマネがするのか、予約の代行はできるが、当日接種会場に連れていくのはどうするのか。4月から通院の50単位が算定できるようになったと思いますが、ワクチンを打っていない人が接種会場に連れて行くのもどうなのかなと考えてしまう。独居の人を接種後自宅まで送って行き、その後の見守りはどうするのか。具合が悪くなったらケアマネが責任を問われるのか、そうでなくとも心配な要素が多く迷っている。何かご意見があったら教えて頂きたい。</p> <p>後期高齢者医療制度の第二号被保険者の方で、ガン末期ですでに亡くなってしまいましたが、医療費が3割負担で、往診と酸素で結構な負担になってしまっていた。介護保険で賄ったほうが少ない負担ですむのに、と思えてしまうケースであった。限度額認定を受けているが、ご主人に適度な収入があり、限度額認定もそれなりの段階層になってしまう。医療保険と介護保険、負担の少ない方を選択できるといいと感じた。</p>
事務局	<p>(1) 会議図について</p> <p>座間市では、在宅医療連携推進事業を医師会に委託している。この事業の実務的な業務は、医師会が設置した座間市地域医療連携支援室が取り組んでいる。市は、2025年、2040年を見据え、あるべき姿を定め、事業の方針を決めていく必要がある。市としての方針を決めていくうえで、医療・介護の現場を知っている皆様から情報やご意見を頂くための場がこの会議である。皆様には引き続きご意見を頂きたい。また、この会議には</p>

<p>委員</p>	<p>支援室の活動報告と今後の活動予定を把握して頂く目的も兼ねている。また連携に関するツールを作成する際などはワーキングのご協力を依頼することがあると思うが、その際はご協力を頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ＳＣについて <p>生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターには、日常生活上の家事援助に限らず、多様な生活支援、介護予防サービスを作っていく、そして高齢者の社会参加を促進するという二つの役割がある。</p> <p>ケアを受ける人が増える一方で、ケアをする人は今後減っていく。それに対応するには、高齢者の社会参加を促進することが大事なポイントである。高齢者の社会参加を促進することが介護予防につながるということと、生活支援コーディネーターの配置が介護保険法の地域支援事業に位置づけられている。</p> <p>生活支援コーディネーターには１層と２層があり、市全域を担当する第１層、日常生活圏域を担当する第２層の２種類に分けられているが、各中学校区を高齢者の日常生活圏域ととらえ、そこに一人ずつコーディネーターがいて、社会参加や多様な生活支援を作っていく役割を担っている。</p> <p>コーディネーター一人で全部できるかという点と難しいため、地域の方々に力を借りることで、コーディネーターを取り囲み相談できる応援団となるチームを作ることを目的に協議体という体制をおいている。しかし、協議体は会議をすると勘違いされていることが見受けられていて、課題であると感じている。</p> <p>第一層生活支援コーディネーターは、日常生活圏域の第２層生活支援コーディネーターが頑張っても広域的に解決を目指すのが一圏域だけでは対応できない課題が市全域に広がっていることから、第一層に挙げて協議体とともに解決に向けた仕組みづくりを考えていくという構想になっている。</p>
<p>事務局</p>	<p>（２）令和３年度 座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会日程変更について</p> <p>コロナ禍での会議開催について、昨年度末は、ご参加の皆さま、準備をする我々も含め会議開催が難しい状況もあり中止や書面会議での開催をしてきた。その様な背景があり、今年度の会議開催について話し合いを続けてきた。その中でまず会議の回数を減らし、２カ月に一回の開催にする。今以上に中身の濃い意見交換ができるよう、事務局としては資料の作成やご</p>

意見を頂きやすいようなテーマの絞り込み等努力していきたいと考えている。回数は減るが、より活発なご意見を頂くことができるよう工夫をしていく。皆様においても自身の状況に応じ、無理のない範囲での出席をお願いしたい。コロナ禍であり、今後変更等の可能性もあるがご協力頂きたい。

以上

【次回】

包括チーム 日時：令和3年7月20日（火）14：00～

会場：市役所5－2会議室

在宅チーム 日時：令和3年7月20日（火）18：30～

会場：サニープレイス座間 多目的室